

保育園自己評価

【令和 6 年度】

株式会社 K&N ベイビーピース

保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士などの自己評価結果を踏まえて、保育所の保育の内容などについて自ら評価を行い、その結果を公表するよう努め保育の専門性を見つめなおす機会とし次に繋げる課題とする。

評価・・・次の基準によって評価欄に○・△・×と記入する	
○	十分理解している（十分できている）
△	理解している（できている）
×	努力が必要である

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価
保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体的な計画をたてている。	○
全体的な計画に基づいた具体的な指導計画を作成している。	○
多様な保育需要に対して、地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している。	○
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり個々の発達にも留意したものを作成している。	○
保育士は、自ら保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている。	△

2. 保育の内容

内容	評価
子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう必要な事項に配慮して保育を行っている。	○
評価結果を基に、保育の改善に努めている。	○
子どもの気持ちを理解して信頼関係を築いている。	○
子どもたちが日々過ごすための安全な環境や、適切な衛生状態に努めている。	△
身体的・精神的・情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的・多面的に子どもの状態を把握している。	○
食育の計画を作成し、日々の保育の中で子どもの「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培わなければならないこと理解している。	○
行事の種類や実施回数は適切に行われている。	○
行事の計画・実施・評価・改善（PDCA サイクル）をとっている。	○
子どもたちが「自分には能力がある」「人々は仲間だ」と思えるような保育（関わり）を行っている。	○
子どもたちをひとりの人として大切にし、子どもたちが自ら考え子どもたち自身が課題を解決できる（しようとする）力を育めるような保育（関わり）を行っている。	○

3. 保育園の組織・役割分担

内容	評価
豊かな集団の育成を目指したクラス運営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている。	○
保育に関わる様々な知識や技術の向上に努め、悩みや疑問を解決するために、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽を積んでいる。	△
全職員は施設内外の環境維持向上に努め、安全対策の共通理解や体制に作りに努めている。	△
職員間で常に報告・連絡・相談の体制が機能している。	△
火災・地震・不審者侵入などの危機管理に努めている。	△

4. 家庭・地域社会

内容	評価
家庭との連携を図るように努めている。	○
関係機関と連携を図る、有効な対応に努めている。	△
保護者や地域の意見を施設運営に反映している。	○

5. 事務管理・運用

内容	評価
個人記録簿は適切に記録し、整理保管（鍵付き書庫）している。	○
職員に園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している。	○
各種会計を適正かつ適切に処理している。	○

6. 情報発信

内容	評価
保育園だより・クラスだより・食育だより・保健だよりなどホームページなどで施設の情報を発信している。	△

評価・反省
1:日々の保育業務に追われ自らの保育実践を振り返り、専門性の向上や改善にまでつなげられていない。職員の定着を課題とし、ゆとりある保育、専門性の向上に努めていく。
2:施設内外の環境を安全で衛生的な状態に保てるよう努力が必要である。
3:保育の質の更なる向上を目指し、研修や学びの場を充実させていく。また、安全対策を強化すると共に、あらゆる災害にも対応できるよう組織体制を整えていく。
4:関係機関との連携をより強めていけるようにする。
5:問題なし。引き続き続けていく。
6:ICT 化を進め今後はホームページなどを活用し、情報を発信していく。